

人にやさしく
地球にやさしい

大日新聞

31号

大日化成株式会社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755 FAX : 06-6909-6702
URL : http://www.dainichikasei.co.jp

通気緩衝工法 水分を逃がし防水層の割れ・ふくれを防ぎます
BIGSUN RX 工法

熱血営業マン!
ダイニくんのお戦記

「インフラ長寿命化基本計画」が発動

大日化成も
インフラ復興に
貢献!

ここで
「スカイシールF12」
の発売

少量ロットも検討中

× タラ
スランプしない
ポリブタジエン系
シール材です

よろしく

こんなところで活躍しています

スレート屋根改修のススメ



スレート改修に関する一般的な要望は、漏水を何とかしてもらい、汚れが酷いので、綺麗に仕上げしてほしい。昨今のエネルギー事情により、遮熱材料を塗布してもらいたい。他大規模工場等であれば、稼働を止めないで改修工事を実施してもらいたい等、様々なことが発生いたします。

それぞれの多種多様な要望にお答えすることを可能なことにする工法として開発されたのが、クール・ド・ルーフ SR工法でございます。

既存下地スレートの補強が必要な場合や、表面の凹凸状態をある程度平滑にしなければならぬ場合に、また下地スレートに水分が多く含まれる場合や周辺に臭気が発生させてはならない場合等の各種要請に対応できる3種類のプライマーを用意させていただいております。

また単純に漏水が発生している場合、とにかく漏水を止めてもらいたい、しかし予算の問題がある中で、トップコートは高価な遮熱塗料は必要ない。などの細かいお客様の要望にお答えすることが可能な工法となっております。

また、漏水発生に伴い、部分的なスレート差し替え補修工事という選択肢もあります。その多くは、工場稼働を部分的に停止しなければ施工できない等の制約が発生いたしますが、クール・ド・ルーフSR工法に関してはこのような制約も発生せず、屋根下の稼働を止めることもなく施



工が可能であることから、改修時の選定工法として、検討いただくケースが多々ございます。

よくある話でございますが、施主様の予算がつかないのに、スレート劣化箇所（クラック発生箇所等）部分のみの補修工事です。今回は対応することと、補修工事を実施し、数年が経過して、また漏水が再発してきたという反応もよく耳にします。

屋根下の稼働を気にしたり、予算の都合で部分的に傷んだ箇所のみ補修で対応しても、数年経てば他の箇所も傷んできます。そもそも屋根は同じ時に施工されているので、早かれ遅かれ傷んでくるものです。その為経年劣化しても一度に解決できる全面的なスレート改修をご検討いただければと思います。



現在、国をはじめ地方公共団体における河川橋や道路橋はその多くが高度経済成長期に集中的に建設されたものがほとんどであり、メンテナンスも十分でないままに使用され、古い構造物では30年〜40年経過しているものが多く、急速に高齢化しそれに伴い構造物の損傷、劣化も進んでいくものと思われています。

平成24年12月に発生した笹子トンネル天井板の崩落事故を契機に、国は橋やトンネルなど全国の道路構造物を一斉に点検を実施しています。そのような状況から全国の道路橋など社会資本の見直しを行いながら、日本再生戦略の中でインフラ長寿命化基本計画を立案して河川橋や道路橋など改修、メンテナンスや点検制度等の取り組みを推進しています。

スカイシールF11は、ポリブタジエンを主成分とする二成分型弾性シール材であり、優れた接着性、復元性、耐水性、耐久性を示します。主剤と硬化剤の混合物は流動性に優れ、伸縮装置への充填作業が容易です。また硬化後は極めて柔軟性のあるゴム弾性体となり長期にわたって、シール性、防食性、耐震性を発揮します。主に、橋梁・道路のフィンガージョイントや簡易ジョイント、また、配管の伸縮吸収管の止水・緩衝の用途で採用されています。また、常温で硬化しセルフレベリング性が良好なので簡単に効率よく施工が行えます。

このような社会状況の中、大日化成株式会社の製品にてインフラ復興再生の事業に積極的に携わっております。

また最近では、このスカイシールF11が、さまざまな用途（地覆部・勾配箇所）で検討されています。特長である伸びひく性を他の用途でも採用したいという声が多くありました。しかしながら、材料自体にセルフレベリング性能があるため、壁面、勾配箇所は、流れず、施工がうまくいかないという欠点がありました。そこで、壁面、勾配箇所などに施工しても流れない、いわゆるノンサグタイプの開発・商品化をすすめようとして決定しました。

商品名は、「スカイシールF12」

縦目地や勾配箇所でも流動せず施工可能な商品です。基本物性は、破断時の伸びが、500%と良好な物性を再現しています。荷姿に於いてもF11は、15リットルセットで一度混合した材料は使いきりのため、少量しか施工しない現場では、材料が無駄になりません。

環境問題を意識し、少量ずつ混合攪拌して使用できるように荷姿も現行の15リットルより小さいもので検討中です。まもなく販売開始予定です。御期待ください。

また最近では、このスカイシールF11が、さまざまな用途（地覆部・勾配箇所）で検討されています。特長である伸びひく性を他の用途でも採用したいという声が多くありました。しかしながら、材料自体にセルフレベリング性能があるため、壁面、勾配箇所は、流れず、施工がうまくいかないという欠点がありました。そこで、壁面、勾配箇所などに施工しても流れない、いわゆるノンサグタイプの開発・商品化をすすめようとして決定しました。



スカイレジン<下地調整材>
スカイレジンWE
エポフィラー
プライマーE
EPC-T

水系エポキシポリマーセメントモルタルの新しい形です。溶剤型塗布材料の下地調整材に最適です!

BIG SUN
<土木用防水材>

ポリマーセメント系塗膜防水材

BS・ラピタルE-S
<高強度型プレミックスモルタル>

コンクリート欠損部の補修に最適なポリマーセメントモルタル

霧ヶ峰シリーズ
節電できる壁面緑化を実現!

スランプしない。ポリブタジエン系シール材まもなく販売!